

# 水素燃料電池

## 水素ってどんなもの？

水素(H<sub>2</sub>)になじみがないかもしれませんが、実は、水素(H<sub>2</sub>)はいろいろなものと結びついて私たちの周りに存在しています。この地球上では、酸素(O<sub>2</sub>)とくっついて「水(H<sub>2</sub>O)」として、たくさん存在しています。



## どうして水素が新しいエネルギーとして注目されるの？

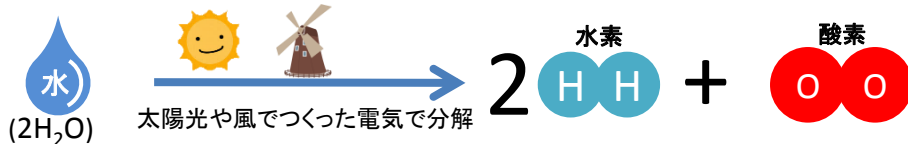
水素が含まれている物質が地球上にたくさんあるから。

今わたしたちがエネルギー源として利用している石油や石炭などの量は限られていて、将来なくなることが心配されています。一方で、水素は水という状態で地球上にたくさん存在しているため、なくなる心配がないエネルギー源として注目されています。



水から水素を取り出す方法によっては、温室効果ガス(二酸化炭素)が発生しにくい。

水から水素(H<sub>2</sub>)を取り出す場合に、太陽光や風などの再生可能エネルギーを利用して、水を分解すると、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が発生しにくいと言われています。



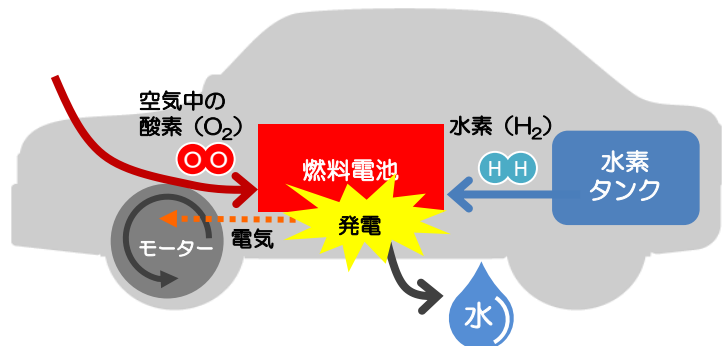
## 水素エネルギーはどんなところで使われているの？

すでに、自動車で水素エネルギーが利用されています。

水素で走る自動車は、燃料電池で、タンクに入れてある燃料の水素と、空気中の酸素を化学反応させて、電気をつくります。

この電気でモーターを回して走ります。二酸化炭素を出さず、排出するのは水だけです。

そのため、水素燃料自動車は「究極のエコカー」と呼ばれることもあります。



水素で動く自動車を、科学館のエントランスに展示してるので、見に行こう！ (10/8・9・10のみ)